

報道関係各位

**SC販売統計調査報告2015年7月 既存SC前年比 : +1.8%**  
**インバウンド効果で札幌市+4.7%、東京区部+3.8%、大阪市+2.4%、福岡市+5.4%と好調**

**<全体概況>**

7月は月前半が天候不順であったが、中旬以降は好天の日が多く客足が盛り返した。また、昨年に比べ夏のバーゲンセールスタートを7月第1週に遅らせたSCが増えたこと、地方では地域プレミアム券が貢献したこともあり、2ヶ月振りに対前年同月比プラス(+1.8%)となった(5月は同+3.9%、6月は同-1.5%)。

地域別では、中国地方を除く8地域が前年同月比プラスとなった。都市別では札幌市+4.7%、東京区部+3.8%、大阪市+2.4%、福岡市+5.4%と好調で、この要因として訪日外国人の増加による売上げアップがあげられる。一方、クルーズ船の寄港回数の減少により売上げが減少したというSCもあり、SCの売上げにおいてもインバウンドが重要な要因となっている。

テナントの対前年同月比伸長率は+2.0%、キーテナントは+1.3%となった。テナントで好調業種は、飲食店、サービスなど物販以外をあげるSCが多くみられた。キーテナントは前月同様に生鮮食品、加工食品が好調な一方、婦人、紳士アパレルが不調であった。

**<トピックス>**

**◆夏のバーゲンセール**

7月のSC販売統計調査報告と同時に発表した「2015年夏期セール結果」では売上げで+1.7%、レジ客数、客単価ともに前年を上回った。とくに客数の伸び(+1.0%)よりも客単価の伸長率が高い(+1.9%)結果となった。

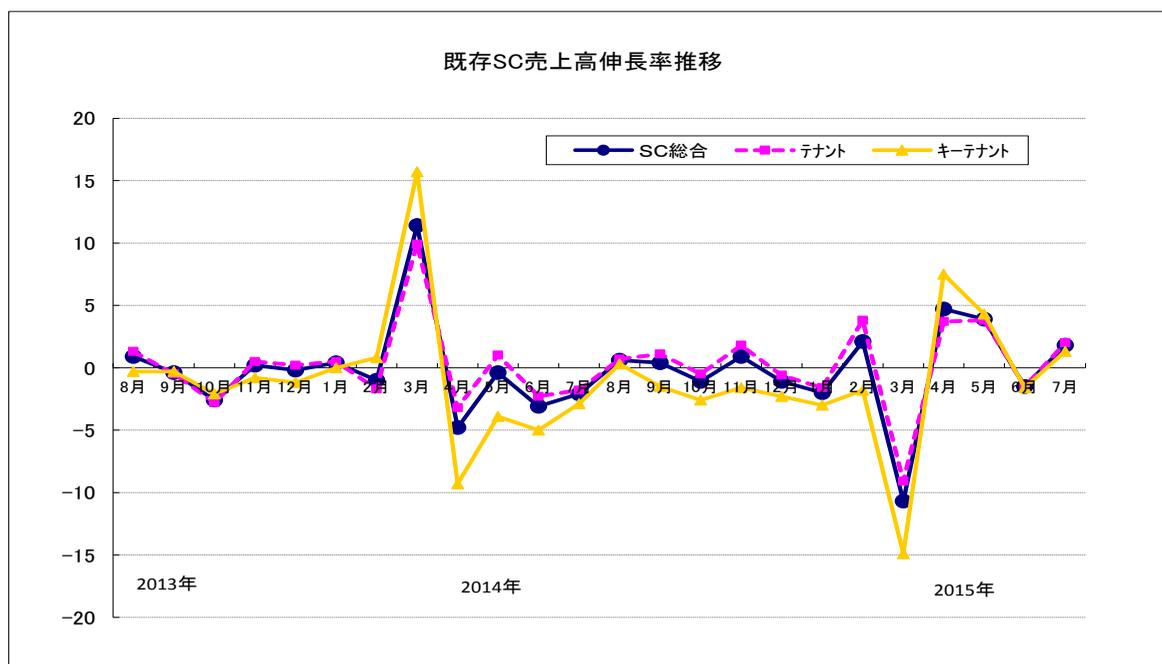
セール開始時期については、6月第4週が全体の50%と以前高い割合を示すものの、今夏の特徴としては7月第1週に設定したSCが増え、昨年の15%から35%に増加した。

**<参考>**

**◆2015年夏期セールの販売動向**

2015年夏のセール結果は、1日当り平均売上高で昨年よりも+1.7%、1日当りレジ客数で+1.0%、客単価+1.9%といずれも昨年を上回った(2014年は昨年対比マイナス)。

※詳細は別添資料をご参照ください。



以上  
この件に関するお問い合わせは 情報企画部:今井・原田  
TEL:03-3536-8121

※お手数をおかけ致しますが、掲載紙・誌をお送りくださいますようお願い申し上げます。  
掲載部分をファクシミリにてお送りいただいても結構です。



一般社団法人 日本ショッピングセンター協会

広報担当：原田・大内・市川・渡邊  
(Tel 03-3536-8121/  
Fax 03-3536-8120/pr@jcsc.or.jp)